



2012.3

# 第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.5

発行／麻生区区民会議

編集／企画部会

事務局／麻生区役所企画課

電話：965-5112

Fax：965-5200

E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

平成22年7月から始まった第3期区民会議は、6月で2年間の任期が終了します。任期の終盤に差し掛かり、各部会の調査審議もまとめの段階に入ってきました。平成24年2月13日(月)に第6回区民会議を開催、各部会から取り組み状況の報告があり、意見交換が行われました。

また、3月3日(土)に第2回区民会議フォーラムを開催しました。



## ■□■□■ 各部会の取り組み状況 ■□■□■

### 【地域交流・文化部会】

#### ◆ 高齢者・障がい者などが

#### 暮らしやすい環境づくり ◆

「ささえあい」を進める各種団体へのピアリングから、様々な支援制度や取り組みが行われているにもかかわらず、十分な活用がされていない現状が明らかになり、「ささえあい」を必要とする高齢者や障がい者のところに情報が届く方法を検討しています。具体的な解決方法として、市政だより麻生区版特別号の発行や、必要なときに必要な情報が得られるような保存版ガイドブックの発行、各取り組みをPRできる機会、例えば区民会議フォーラムなどを利用した広報活動が考えられています。



また、「地域の絆づくり」は、町内会活動を進める上で基本なことですが、実際に絆をつくるため、町内会等では、様々なイベント等を通じて地域交流の場を設ける努力をされています。世帯数が少ない町内会で、単独でイベントを行うことが難しい場合には、他の町内会と連携したり、ボランティア団体や市民交流館やまゆりでのノウハウを活かして行う

ことができないか等、具体的な絆づくりの方法を検討しています。

さらに、「ささえあい」の担い手づくりのため、地域人材の発掘と育成の必要性が明らかになりました。町内会・自治会レベルでは、これまで仕事で培った知識や豊富な社会体験を持った人が地域デビューをして、その能力を十分に発揮できるようにする仕組みが必要であり、一方、区レベルでは、地域デビュー養成講座や、市民館の生涯学習などを通じて人材育成を行い、それを地域の担い手づくりにつなげていく方法が必要とされます。



その他、山坂が多い麻生区で高齢者の移動手段の確保が重要になることからコミュニティバスの必要性や、社会問題となっている自殺者の増加に関して「コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク」が機能する取り組みなどについても提案が出されました。これらの課題全てに具体的な提案をすることは、期間的な問題もあり難しいところですが、絆づくりの機運が高まっている現在、できる限り具体的提言にまとめていくこととします。

## ◆ 区民が主体となって進める 芸術・文化のまちづくり ◆

文化芸術事業の実施主体へのヒアリング調査の結果、主な課題が見えてきました。まず、広報活動に関し、参加者増加や周知徹底のための手段・方法・タイミングなどの工夫が必要であること。次に、一部のイベント間では連携の動きがあるが、さらに拡大して連携する取り組みが必要であること。また、練習場所など活動の場の確保や、既存施設の音響照明の改良が必要であること。さらに、イベント時の案内や掲示などの制限が多く、「にぎわい」を演出することが困難であること。これらの課題に対し、次の3つの解決策を検討しています。

1 文化担当官（仮称）の設置…多くの区民がさまざまな方法で芸術・文化を楽しむ体制づくりや、地域団体との連携、幅広い地域情報の収集・発信を継続的に推進するための一本化した窓口を設置する。

2 麻生文化会議（仮称）の設置…各イベントなどの関係者が一同に会し、年間を通じた情報発信、相互協力を行う。広報協力、人材交流、地元芸術家や団体間のネットワークとしての機能を担う。



3 川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用…イベント開催時の新百合ヶ丘周辺の広告幕、のぼりや立て看板の設置などの制限について、条例の弾力的な運用に向けた協議を行い、景観の美しさと「にぎわい」が共存する街づくりを検討する。

今後、これらを骨子とした提言をまとめていきます。

### 【環境・緑化部会】

#### ★ 循環型のまち・生ごみリサイクル ★

5～7月に区民を対象に行った「麻生区生

ごみアンケート」の結果を踏まえ、作った生ごみ堆肥を使わない方から必要な方へ橋渡しし、資源を循環できるような仕組みを考えるため、生ごみリサイクルモデル事業を行いました。12月～3月までの第4土曜日に、区民会議委員が、区役所ロビーにおいて、乾燥生ごみ（3月のみ完熟堆肥も）の回収を行いました。回収後は、区内の福祉施設「はぐるま工房」にて完熟堆肥にして、地域の園路の花壇に植える花苗を育てるために使います。



当初の検討段階では、毎回とも家庭でできた完熟堆肥を集めることを考えましたが、廃棄物処理法や肥料取締法による規制があることがわかり、法律に抵触しない範囲で、乾燥生ごみを集めることとしたものです。市政だよりへの掲載やチラシの配布により区民の皆さんへの広報はしていたものの、震災以降、節電のため電動生ごみ処理機を使用しなくなった方も多く、回収できたのはわずかでした。しかし、生ごみの減量や堆肥化の方法を相談される方は多く、関心の高さが感じられました。この実施結果やこれまでの取り組みを通し、区民会議としての提言を行っていきます。

#### ★ グリーンアップ・里山ボランティア ★

保全緑地に指定されながら保全管理されていない麻生区内の緑地（市有地）について、里山ボランティアを公募し、下草刈りなどを行うモデル事業を実施しました。

公募の参加者は、募集人数より下回りまし



たが、参加者へのアンケートの結果、「楽しかった」「また参加したい」という声が多く、「今後、同様の取り組みがあったら案内をして欲しい」という意欲的な感想もあり、森がきれいになった体験をみんなで共有できました。効果的な参加者募集方法が、今後取り組みを広げる際の課題として残りました。

このモデル事業は1回しか実施できず、新たな組織の立ち上げまで行うことはできませんでしたが、活動継続に向けた調整を行い、実施主体である緑の保全団体や、他の団体、地元の町内会等との連携も検討し、提言をまとめていきます。

## ■□■□■ 第2回区民会議フォーラム開催報告 ■□■□■ ～人と人と心をつなぐ地域づくり～

- 1 開催日時 平成24年3月3日(土)  
午後1時30分～4時30分
- 2 開催場所 麻生区役所会議室
- 3 参加者数 83人

第3期麻生区区民会議で地域課題解決に向けて調査審議を行ってきた経過報告とともに、「地域の絆づくり」に関連した、講演・パネルディスカッションを開催しました。また、会場には、地域づくりと芸術イベントの展示コーナーを設け、団体の活動や芸術イベントを紹介しました。

### ●区民会議報告

区民会議のこれまでの審議経過・取り組みを報告しました。



●講演：「地域での絆づくりについて考える」～無縁社会と地域でささえあう関係づくり～  
NHK首都圏放送センター特報首都圏チーフプロデューサー、板垣淑子氏による講演を行いました。

板垣氏が制作に携われたNHKスペシャル「無縁社会～新たなつながりを求めて」(平成

23年2月11日放送)の一部を放映した後、取材時の感想などを交えてお話ししていただきました。



板垣 淑子氏の講演

官報の掲載記事では氏名不詳となっているが、住んでいたところに赴き少し取材ただけで氏名や出身地、働いていた会社までわかる。しかし、出身地に血縁がなくなり住所が変わってしまうと、先祖のお墓があるにもかかわらず、無縁という扱いになってしまうという衝撃的な事例の紹介がありました。また、取材中に知り合った方が手術することになり、保証人が必要となったが血縁者がいない。良く知っている方なので、代わりにサインをしようとしたが、血縁者でないので受理されず手術できない。結局、病院が紹介した保証協会にお金を払って保証してもらった、という人と人との縁よりもお金で保証を買うことになったというお話もありました。さらに、独り暮らしで、万一家の中で倒れたらということを心配していたが、ご近所の同じような境遇の方と、お互いに元気かどうか確かめるサ

インを決めてからは安心して生活できるようになった、と新たな縁をつくった事例もお話いただきました。

参加者の感想から・・・「現場を取材した方ならではの貴重なお話でした。」「絆もお金で買える時代という事で、あらためて絆の希薄さを感じました。」

### ●パネルディスカッション

「地域の絆づくり～ささえあい活動を進めるためには～」と題し、日頃、地域でささえあいに関する取り組みを実践されている方々から取り組み紹介や意見交換をしていただきました。



○「新百合ヶ丘自治会」樋口氏から…自治会独自で自治会版災害時要援護者支援の運用基準を策定し、運用を開始している。援護が必要な方の了承を得て、登録時に自治会役員や実際近隣で支援してくれる方への情報提供を行い、支援者の確保を行っていることなどお話しいただきました。

○「麻生区社会福祉協議会」足立氏から…震災に際し行ったボランティア支援の取り組み事例や、今後地域活動の支援のため、様々な形で連携をすすめていきたいとのお話がありました。

○「柿生アルナ園地域包括支援センター」菊地氏から…地域包括支援センターで行っている4つの事業の紹介や、町内会や民生委員との会議を開催し連携をはかっていること、地域で介護予防や体操教室などを通じた高齢者の交流の場を設ける取り組みを行っていること

のお話がありました。

○「区民会議」石井委員から…地域でささえあい活動を行っているボランティア団体や町内会・自治会にヒアリング調査した結果を紹介しました。紹介させていただいたのは次の団体です。

「グッドネイバース」…在宅の一人住まいの高齢者の生活支援など

「柿の実会」…65歳以上の障害のある方や食事づくりが困難な方に手作り弁当を配達

「さしす」…肢体不自由、発達障害、自閉症のグループに分かれてキャンプ、お話し会などを実施

「岡上町内会」…民生委員活動をサポートするボランティアの活用の検討など

「千代ヶ丘町会」…防災対策で川崎授産学園と協定を結び災害時の学園の避難協力を実施など

パネリストからは、地域でのささえあいを進めるためには、独自の取り組みだけでは限界があり、連携した活動が必要との意見が出されました。

参加者の感想から・・・「包括支援センター、看護師、自治体、ボランティア等の人たちがそれぞれ協力し合って、一人暮らしの高齢者の見守りができるようなネットワーク作りが必要と感じました。」

### ●展示コーナー



参加者の感想から、「区民会議への要望」として、「区内全体を見渡した取り組み、地域間での温度差を少なくしていくような取り組みなども期待します。」「区民会議の提言を、より有効に継続させるための方向性を検討してほしいと思います。」などの貴重なご意見をいただきました。今後の取り組みの参考にさせていただきます。

**次回区民会議 5月25日(金)15時～ 区役所第1会議室** ※区民会議はどなたでも傍聴できます。

区民会議ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/73/73soumu/kuminkaigi/index.htm>